

製品名: EAAT2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86785**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:62 kDa; Observed MW:65 kDa

抗原情報

遺伝子名	EAAT2
別名	GLT1; Eaat2; GLT-1; MGLT1; AI159670; 1700091C19Rik; 2900019G14Rik
遺伝子 ID	20511
SwissProt ID	P43006
免疫原	マウス EAAT2 の合成ペプチド

背景

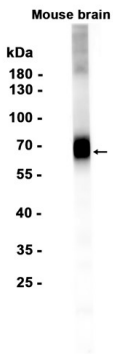
ナトリウム依存性の高親和性アミノ酸トランスポーターであり、L-グルタミン酸、L-アスパラギン酸、D-アスパラギン酸の取り込み

を媒介します (PubMed:7698742、PubMed:7557442、PubMed:9373176) 。1つのアミノ酸分子を2つまたは3つのNa⁺イオンおよび1つのプロトンと共に輸送する共輸送体として機能し、同時に1つのK⁺イオンの対向輸送も行います。アミノ酸輸送とは共存しないCl⁻フラックスを媒介することで、アスパラギン酸およびNa⁺共輸送による負電荷の蓄積を回避します (相同性による) 。遊離したグルタミン酸をシナプス間隙から速やかに除去し、グルタミン酸のシナプス後作用を終結させるために不可欠です (PubMed:9180080) 。

研究分野

-

画像データ



EAAT2 ウサギモノクローナル抗体を 1:3000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。